

狭心症とはどんな病気？

心臓の表面を流れる冠状動脈が動脈硬化や血管の痙攣などで狭くなることにより、心臓を養う血液が足りなくなり発作的に胸が苦しくなる病気です。この時の胸の痛みは心臓が教えてくれる貴重な危険信号です。

症状

胸痛の特徴は重苦しい、圧迫される、締め付けられる、息がつまる、焼けるようなという表現が多く、痛みというより不快感を訴えることもあります(急性冠症候群の診療に関するガイドラインより参照)。

診断方法

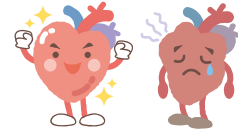
血液検査、運動負荷心電図検査、核医学検査などがあります。冠状動脈の狭窄状況の判断には、これまで入院して行う冠状動脈造影検査(心臓カテーテル検査)が一般的でした。



しかし近年では、外来でも検査が可能な心臓 CT 検査にてスクリーニングを行う場合が増えていきます。当院の CT 装置は被ばくが少なく、専門の技師が検査を行っています。

予防のために

禁煙する／塩分・糖分・脂肪分を取りすぎない／バランスの良い食事／適度な運動／ストレスを避け、規則正しい生活を送る／血縁者に狭心症の患者がいれば生活習慣に注意／高血圧・糖尿病・高脂血症の早期発見など(国立循環器病研究センター循環器情報サービスより参照)。



胸が締めつけられるような痛みなどを感じたら、早期発見が大切です。すぐに医療機関を受診してください。どうぞ安心した生活が送れますように。

甲府市立甲府病院…☎(244)1111



とびだせ！市民レポーター！

～紫色の花に秘められたパワー～

甲府ブランド認定制度(食品部門)認定第10号となった「サフラン満喫詰め合わせセット」。生産者の(株)スリーピークス社長・峰岸一郎さんにお話を伺いました。

たくましい生命力



製造業の会社を営んでいる峰岸さんはある時、テレビでサフランの番組を見て球根を購入。それを放置したまま忘れかけていたころ、箱に入った球根からあふれんばかりの芽が出ているのを目にし、その生命力に感動してサフラン栽培を行う決意をしたそうです。

思考錯誤する中で、国内生産量1位の大分県竹田市の方々とは知り合い、情報をいただくなどして5年前から栽培を開始しました。1～5月まで土の中で育て、6～10月後半は木箱に入れ暗室に保管。11月には紫色の花が咲きます。開花した花の雌しべを採取し乾燥させたものが、乾燥サフランになります。

広がる新たな可能性



▲「サフラン満喫詰め合わせセット」

サフランは、江戸時代に栽培され万能薬として利用されていました。その後いったん栽培は途絶え、明治には神奈川県の大磯で生産されていました。その技

術が大分県に渡り、それを甲府市の自然と環境に合わせて栽培されています。これは偶然ではなく必然であったと感じていらっしゃるそうです。興奮剤・鎮痛剤・通経剤などに使用され、医薬的効果を認める医師も多く、生薬としても利用されています。今後は地域の特産「国産オーガニックサフラン」として世界に発信していきたいとのこと。甲府市産サフランの可能性はますます広がっていきます。

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

サフランについて良く知らない方が多いと思いますが、万能薬として使用されていたなど効能がいろいろあり、長い歴史もあることが分かりました。また峰岸さんの熱い想い、甲府を活性化したいとの希望、世界を見据えた活動の話を聞き、楽しい時間を過ごすことができました。「サフラン満喫詰め合わせセット」はJA山梨みらい直売所「獲れたてLand山城店」などで販売されていますので、ぜひ魅力を感じてください。私も11月には紫色の花を見に行きたいと思います。



今月の担当レポーター／古屋貴子